

2021年(令和3年)

第13号

(8月18日)

平安だより

HEIAN letter

発行所：立正佼成会 京都教会
 発行責任者：渉外部長 田中規之
 編集委員長：渉外広報 植田恭司
 〒605-0041 京都市東山区三条東町 230
 TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

戦争犠牲者慰霊・平和祈願の日 ～平和学習会をオンラインにて開催～

今年の8月15日の戦争犠牲者慰霊・平和祈願の日は、昨年と同様コロナ禍のため教会には参集せず、会員各自が自宅において本部からのYouTube配信の式典に参加しました。

本部の式典では、国歌・会歌斉唱のあと「平和への誓い」と題した映像放映があり、読経供養、説法、庭野会長のご法話と続きました。

本部式典終了後、京都教会独自の平和学習会をオンライン（Zoom）にて開催し、40名ほどが参加しました。学習会では、戦争によって犠牲になりました多くの尊い御霊や新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々の御霊に対し、黙とうから始まりました。次に、「さくら」という平和に関する絵本の読み語りを学生部の宮本彰希さんが行いました。朗読後、宮本さんは「本来であれば綺麗に咲き、ひらひらと舞う桜が、戦時中はお国のために見事に命を散らすことに例えられることの怖さを感じた」と感想を述べました。

その後は、Zoomのブレイクアウトルームという機能を使って、5～6名ずつのグループに分け法座を行い、それぞれが感じたことを話し合いました。

法座終了後、中村教会長さんはお言葉の中で、庭野会長のご法話にふれ、自らを愛し自らを尊ぶことの大切さを学びました。

切さやいろんな角度から物事を見ることの必要性を学びました。

また、秋の衆議院選挙を迎えるにあたり、政府や国を批判する前に、その議員を選んだのは自分たちだということに再認識すること、そして相手の立場に立って考えることを述べました。

最後に、ご供養で心を整え、身近なご縁が笑顔になる足下の実践をして参りましょと、精進を促しました。

15日を迎えるまでの8～14日の毎晩、少年・青年・婦人部が中心となってオンライン平和学習会を開催しました。この取り組みは昨年も行っており、今年参加者人数はのべ200名余りにのぼりました。

毎日、少年部員が平和に関する絵本の読み語りをを行い、15日を迎えるまでの気持ちを整えるとともに、平和の大切さを学びました。

8日：石井悠斗くん・絵本：私の「やめて」

9日：二角友都くん・絵本：ぼくの声がきこえますか

10日：二角妃音ちゃん・絵本：へいわってすてきだね

11日：落合穂華ちゃん・絵本：せんそうしない

12日：菱田海央ちゃん・絵本：へいわってどんなこと

13日：杉山智希くん・絵本：ぼくがラーメンたべるとき

14日：大南陽花里ちゃん・絵本：世界いち うつくしいぼくの村

壮年総会で感じたこと

6月に開催された令和3年次「壮年総会」にオンラインにて参加された壮年部員より、感想が集まりました。複数号に分けて紹介します。

◎今日の壮年総会に参加させていただきました。コロナで自分病になってしまっている私たちが、家族やサンガ、職場や地域の人たちとの縁を育み、「ひとりにしない」ことを学びました。今回の学びをもとに私たちの取り組みを考えていきたいと思いました。みなさんと学びを共有化していきましょう。ありがとうございました。

◎奥田先生のお話で、親の愛情を受けて子供は育つのですが、受けられずに育つと人と交われず孤立するよ

うになってしまいます。その子供も同じようになってしまいます。それを周りの人や社会がほっとかないで、かかわって行く事が大事であることを教えて頂きました。災害でも高齢者など避難せず亡くなられる方があとをたちません。この中には、先ほどのような方も含まれていると思います。まさに、現在の課題であると思いました。長くなりましたが、このようなことがとても突き刺さりました。

壮年総会の関連記事は下記のサイトをご覧ください

<https://shimbun.kosei-shuppan.co.jp/news/49687/>

令和3年、私たちは「どこでも道場 祈り祈られ 笑顔と涙によりそおう」を実践して参ります。

京都教会のホームページが出来ました。<https://rkk-kyoto.jp/>